

審議会等議事概要

令和6年度 第2回 滝川市社会教育委員会議 議事概要

日 時	令和6年9月10日（火曜日）午後6時30分～午後7時30分
開催場所	滝川市役所 大会議室
出席者	委 員 山木委員長、村田副委員長、柴尾委員、柴田委員、白神委員、曾根委員、 珍田委員、坪江委員 事務局等 運上社会教育課長、平沼同課係長、小西同課主事、深村図書館長、 茶木美術自然史館長
議 事	<p>1. 開 会</p> <p>2. 委員長あいさつ 本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。報告事項、連絡事項が多くありますがよろしくお願ひします。</p> <p>3. 報告事項 ※以後、山木委員長を議長として会議を進行（社会教育委員会議規則第3条第2項）</p> <p>(1) 「所管からの行政報告」について【資料1】 ※事務局より【資料1】について報告</p> <p>委 員：少年の主張をなぜ平日開催としたのか。 事務局：昨年までは6月第一週の土曜日に開催していたが、翌週が中体連という部活動も多く、練習試合等で参加できない生徒がいたことから、参加対象を広げるため今年度から平日開催とした。 今年度の空知大会では滝川市の生徒が久しぶりに優秀賞を獲得したが、今回参加対象を広げたことも、一つの要因になっていると考えている。</p> <p>委 員：出張お話し会は老人ホームでの実施が多いが、内容としてはどのようなことを行っているのか。 事務局：ボランティアと図書館職員が高齢者向けの紙芝居を読むこともあれば、一緒に歌うこともある。高齢のボランティアが多いが、積極的な方が多く、色々なアイデアを出し合いながら進めている。頻度としては月に2か所を目安に実施している。</p> <p>委 員：こどもミュージックフェスタの参加人数は何名程度だったのか。 事務局：参加者は287名、来場者を合わせると500名程度となった。</p> <p>委 員：企画展について、鮫島淳一郎氏と滝川市または美術自然史館との繋がりを教えていただきたい。 事務局：植物画協会の重鎮でもある臼井先生から作品を寄贈いただいたことをきっかけに、植物画協会と繋がりができ、今回、植物画協会の委員長でもある鮫島氏の作品を寄贈していただけることとなった。 滝川市と鮫島氏との関係はそこまで深くはないが、植物画協会との繋がりの中で寄贈いただいた。</p>

委員：素晴らしい作品だったため、もっと市民に周知するべきだった。

事務局：ご意見として承る。

(2)「新たな海洋センターの整備概要」について【資料2】

※事務局より【資料2】について説明

委員：運営はスポーツ協会が行うのか。

事務局：現在の海洋センターはスポーツ協会が指定管理者として運営しているが、今後については、市とスポーツ協会が運営するパターンとスポーツ協会が一括して運営するパターンの2パターンで検討を進めている。

委員：小学校の授業で海洋センターを活用するイメージはあるのか。

事務局：現在も市内近郊の小学校や札幌の小学校を受け入れているが、今後は水上スポーツだけではなく、2階部分の学校利用も受け入れていきたい。

委員：周辺施設との相乗効果を高めるとあるが、どこを狙っているのか。

事務局：例を挙げると、午前は川の科学館で防災について学び、午後は海洋センターで水上スポーツを体験するなど、エリア全体での連携を考えている。その他にも、ふれ愛の里やパークゴルフ場といった周辺施設との連携プログラムも検討している。

委員：川の科学館の整備が不足していると感じる。管轄が違うことから整備は難しいと思うが、海洋センターと合わせて整理ができれば良かった。昔は子供たちが遊ぶ場所だったが、現在は子供たちも来なくなり、寂しく感じる。この現状を目の当たりにしているからこそ、相乗効果に疑問を持っている。

事務局：川の科学館でも様々なプログラムを考え、現在は防災拠点施設として施設運営をしている。今後、少しでも来場者が戻るよう連携していきたい。

委員：数年前に街をコンパクトにすると言っていたが、西滝川に新たな施設を建設するのは矛盾していないか。

事務局：コンパクトシティを目指すことは今も変わらないが、一方で西滝川に観光・遊べる施設を集約していく産業振興課のねらいもあることから、今回の施設整備の目的に合致していると考えている。

委員：建物に対して8億円が助成されるのか。

事務局：一部対象外経費はあるが、総事業費に対して8億円の助成を受けることとなっている。

委員：年間の運営費は今と比べると高くなるのか。

事務局：はっきりしたことは言えないが、現在より経費を落とすことができればと考えている。

委員：海洋センターに隣接するキャンプ場は市のものなのか。

事務局：キャンプ場は市が整理し、現在は振興公社がふれ愛の里と一緒に一体管理している。

委員：キャンプサイトとカヌー体験のセットプランは考えているのか。
事務局：産業振興部とそういった取り組みができるよう相談している。
委員：そういうセットプランがあると、親子連れの利用が増える。
事務局：ご意見として承る。

(3)「滝川駅周辺地区再生整備基本計画 策定検討に係る中間報告」について【資料3】
※事務局より【資料3】について説明

委員：資料3ページの1番最後に、国の交付金等の財源対策も含め事業費を精査すると記載されているが、国からの補助金があって成り立つ事業であることを知らない市民が多くいると感じる。
そのため、市民には補助金の制約があることを予め説明するべきではないのか。

事務局：今いただいたご意見を駅周辺整備部にも共有させていただく。

委員：多くの時間を費やした後に、補助金の制約があるため実にはできないとなる前に、事前に知っておくことは必要である。

事務局：交付金の関係はもちろん大切だが、お金を前提に話してしまうと良い意見がでない恐れがあることから、できるだけ間口を広げ意見を集約しているところである。最終的には制約があることを話さなければならないため、駅周辺整備部と話すタイミングも含めて調整していく。

委員：ホールが入る建物は3階建てをイメージしているのか。

事務局：階数についてもこれから詰めていくことになる。皆さんからいただいたご意見と、市が必要と考える機能・規模感によって決まっていく。

委員：ホールが入る階数はまだわからないということか。

事務局：ホールが2階相当になるので、基本的には1階になる。

委員：2階からも客席に行けるようなイメージか。

事務局：構造については補助金の制約もあることから、何パターンか検討しながら決めていくこととなる。

(4)「北洋銀行改修工事に関する意見書の提出」について

※事務局より口頭報告

事務局：北洋銀行滝川支店が改修工事を検討していることに伴い、現在のギリシャ風の外壁を残した形で修繕していただけるよう、滝川市文化財審議会から意見書を提出した。

9月6日に支店長から外壁に配慮する旨の連絡を受けたので報告する。

4. 連絡事項

「空知管内社会教育委員委員長等研修会（11月実施分）」について【資料4】

※事務局より【資料4】について説明

5. その他

6. 閉 会

会議資料	資料 1 所管からの行政報告 資料 2 「新たな海洋センターの整備概要」について 資料 3 「滝川駅周辺地区再生整備基本計画 策定検討に係る中間報告」について 資料 4 「空知管内社会教育委員委員長等研修会（11月実施分）」について
------	---